

可法省警廳廳府廳  
條例中左ノ通改正  
大臣三條實美

○憲兵本部  
ノ四字ヲ加ヘ「衛  
衛」ヲ加フ

○十月十一日中  
字ヲ「副官副官  
二員」ノ二十四字

○三停年以上士官  
ヲ「第四」「第四」  
ノ下「出納」員

○以下武學校入學請  
軍部長之「其書  
」ノ下「及」ノ二

○五字ヲ加ヘ「一  
」ノ下「及」ノ二  
」ノ下「及」ノ二

○「右諸節ノ中  
」ノ下「及」ノ二  
」ノ下「及」ノ二

○「自己」ノ所見  
ノ下「及」ノ二  
」ノ下「及」ノ二

第十六條ヲ第十四條ニ改ム  
第十七條ヲ削除シ左ノ條項ヲ加フ  
第十五條 各隊各部ニ於テ拔擢スヘキ人員ハ年々陸軍  
ノ之ヲ限定シ監軍部長ヲ經テ豫メ之ヲ告達スヘシ  
第十六條 監軍部長ハ豫メ所管長官ニ委任シテ檢査委員  
編成セシメ停年以上ナル士官下士ノ學術ヲ檢査シ其檢  
査結果ニ對シテ部長到著ノ部拔擢名簿ト共ニ之ヲ差出  
ス  
○海軍省達内第七拾九號 海軍一般  
本年(四月)丙第七拾號ヲ以テ海軍將校乘艦期限條例  
相違候ニ付ハ乘艦滿期ノ者届出方左ノ通相定ム此旨相違  
候事  
明治十七年五月六日 海軍卿 川村純義  
一乘艦滿期ニ至ル者ハ其三月前ヨリ以テ所屬艦長ニ  
届出可シ  
一艦長前項ノ屆書ヲ受領スルハ之ヲ所管長官ニ出シ所管  
長官ハ之ヲ海軍卿ニ出ス可シ  
但艦長或ハ所管長官尙本人ノ乘艦ヲ必要トスルハ其  
意見ヲ副書ス要シ

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

○東京府告示第八十號  
客年當廳乙第廿二號ヲ以テ福岡縣福博多兩所へ入港船  
舶ヨリ燈臺費用取立方告示置候處客月十一日ヨリ左ノ通改  
正候旨右縣廳ヨリ通知有之候條此旨告示候事  
明治十七年五月六日 東京府知事芳川顯正  
一西洋汽船及帆船 一噸ヨ付金一圓二圓  
一日本形船五十石以上 一石ヨ付金一圓五毛  
一同五十石未満 一噸ヨ付金一圓五毛

時事新報

ル可シ或ハ一旦内外競争ノ際ニ先ツ倒戈反噬スル者ハ甲乙  
孰レモ在ルヤ同ハズシテ之ヲ判斷スルコト得ン事ニ此點ヨ  
リ考フレバ外國人トノ雜婚ハ漸ク之ヲ化シテ多少其居住國  
ヲ愛セシムルノ端ヲ開クモノト云フ可シ又外國人ト雜婚ス  
レバ之ニ化セラレテ他モ亦愛國心ヲ減ス可シトノ説モアレ  
バ雜婚ノ如何ニ拘ハラズ外國人ハ依然我國ニ來任ストアレ  
バ其化セラレテ愛國心ヲ減スルハ雜婚ニ關係ナキモノナリ  
況ンヤ人間ノ交際ニ於テ既ニ主客ノ別アレバ外國人ハ我ニ  
化セラレテ柱クテモ愛國心ヲ減フコソアレ我ニ化シテ其  
愛國心ヲ減セシムルガ如キハ万々其理ナキニ於テチヤ但シ  
我輩トモ雜婚ヲ以テ愛國心ニ關係ナシト云フニ非ズ異種  
異宗ノ人互ニ相結婚セバ或ハ其夫妻ノ一方ヲ導キ外國ノ宗  
旨ヲ奉セシムルガ如キヨモアリテ多少宗教ノ信心ヨモ影響  
スルナラント雖モ一國ノ全體ヨリ之ヲ見レバ國ヨリ齒牙ニ  
掛クルニ足ラズ現ニ今日ノ北米合衆國ノ如キ其歴史ニ溯レ  
バ英國ノ人民ガ偶々來リテ一社會ヲ成シ現在父母ノ邦ニ叛  
テ新クニ獨立ノ共和國ヲ創立シ其後種々ノ國ヨリ種々ノ人  
來住シ又其子孫ヲ蕃殖シテ今一大富強國ヲ組成シタルモ  
ノナレバ年々歳々去ルモノアリ來ルモノアリ異種異宗ノ人  
互ニ相雜居シテ互ニ相雜婚スルナラント雖モ米國全體ヨリ  
之ヲ見レバ其國民ノ愛國心却テ其他ノ各國ニ超過スルガ如  
ク蓋シ他國ノ一個人々、獨立ノ一國ニ來住シ其法律習慣ニ  
從テ商工業業ヲ營ム於テハ之レト同時ニ一部分ノ小失得  
ハアラント雖モ其國全面ニ向テハ固ヨリ影響ヲ及ボスト  
ナキガ故ナラント從來外國ニ生長シテ中道ヨリ來住スルモノ  
コトモ既ニ陳述スル所ノ如ク況ンヤ其子孫孫々ニ至レバ官  
語、衣食、道徳ノ教旨ニ至ルマデ皆テ其誕生ノ國風ニ從テガ  
故ニ固ヨリ内外ノ區別ナク純然タル我國民タルニ於テチヤ  
故ニ愛國心云々ナク口實トシテ直ニ雜婚ヲ非トスルハ未ダ尽  
カサルノ説ト云フ可シ

雜報

○眞愛親王 今因千葉縣志野郡に於て近衛兵衛尉ニ對シテ  
品貞愛親王は御沙汰を蒙られ侍從東宮皇太后宮内省等出  
仕大河内正實二氏を隨へられ来る九日同所へ出立せらるゝ  
事なりと  
○護國衛皇后崩逝 據傳據故テニルヤナリト皇太后崩逝ニ  
し給ひシアン皇后宮(今上ハ皇太后)には此種より御不例  
なりし處一昨日遠く別御遊遊されし曾孫國政府より我東京  
へ電報ありし由り我宮廷并ニ政府より皇太后崩逝の電報  
と發せられたるや承知しり及東京在の各機關並ニ皇太后  
崩逝の事に関する集會なりしと云ふ事なりと  
○大臣參議集會 一昨五日三輔都國代官邸に於て大臣參議  
比方々が集會せし由の昨日の紙上ハ取敢へテ記載せしが尙  
ハ聞く所に依れ右右御用指以テ水取敢及び海軍、宮内省の三  
省とも御制の改正により其定額に及ばざるべしに付  
夫等の事に關する集會なりしと云ふ事なりと  
○恩賜の宴 山縣參議に昨六日夕刻より宮内省前代官邸  
へ大臣參議及各國公使其他内外の貴賓七十餘名を招き  
神社大祭に際し恩賜の宴を催ふしと云ふ事なりと